

インタビュー

3月5日(土) 第2部 出演者



松村 由紀 (ヴァイオリン)

・高松市出身

・京都市立京都堀川音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

音楽は「言葉で表せない様々な感情を引き起こしたり、本能を刺激してくれる存在」

—「デビューリサイタル」に応募した理由

地元で開催されることに大きな魅力を感じて応募しました。また、自分で選んだ複数の曲を1つのプログラムに仕上げる過程に挑戦したいと、以前から考えていました。

—ヴァイオリンを始めようと思ったきっかけ

きっかけは両親のすすめです。当時4歳で初めての音楽の習い事だったということもあり、とても新鮮で、そのまま続けることになりました。

—心を動かされた曲や聴いてみてほしい曲

ドヴォルザークの『4つのロマンティックな小品』です。動画で第1曲の冒頭を演奏しましたが、ヴァイオリンならではの音色が活かされる旋律で、暖かい手ざわりを感じられるような素敵な曲です。

—コロナ禍で演奏活動が制限される中、特に大変だったこと

弦楽器という点では、オーケストラの演奏会が減り、弾く機会も聴く機会も貴重でした。集まって練習できることになっても、演奏中お互い距離をとる必要があり、周りの音の聞こえ方が変わって、最初は戸惑いました。

—最後に一言

今回選んだ作品やヴァイオリンでの表現を通して、自分らしい演奏を聴いて頂けるよう、臨みたいと思います。

